

# 大学院特別講義

（医歯学先端研究特論） （生命理工学先端研究特論）

（医歯理工学先端研究特論）

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師      千葉大学大学院医学研究院    泌尿器科学  
教授    市川智彦

2. 演 題      男性不妊症とアンドロロジー

3. 日 時      平成25年6月14日（金）  
18時00分～20時00分

4. 場 所      3号館    2階    医学科：講義室1

## 5. 内 容

生殖補助医療（ART）の進歩により、男性不妊症の位置づけも大きく変化した。しかし、体外受精や顕微授精の成功率は向上したものの、晩婚化と相まってその成績にも限界がある。また、ARTを受けることによる妻の社会的ならびに心理的負担も考慮しなければならない。したがって、男性不妊症に携わる泌尿器科医としてはARTという一つの切り札を考慮に入れながらも、自然妊娠の可能性を常に診療に反映させる姿勢が必要である。再建手術が可能な閉塞性無精子症であれば言うに及ばず、精索静脈瘤においても、適応の有無を十分に評価した上で手術を施行すべきであろう。男性不妊症の病態の解明には基礎医学の発展が必須であるが、癌などと異なり不要なものとして摘除される標本がないことや、末梢血を検体とした研究にも限界があることなどから、十分な研究成果が得られていない。講義ではこれらを踏まえ、アンドロロジー領域も含めて男性不妊症の現状と今後の課題を解説する予定である。

【連絡先】 生殖機能協関学教授室 長尾・大久保（内線 5316）